

# 390m 日本一高いビル 東京駅近く

2027年完成予定

2015年 9月 1日  
朝日新聞

## 新シンボル 390m 高まる夢



### 390m 日本一高いビル 東京駅そばに計画

三菱地所は31日、高さ日本一となる390階の超高層ビルを、JR東京駅近くに建てることを発表した。地上61階、地下5階で、2027年度の完成予定だ。オフィスや商業施設が入り、展覧場は20位前後だ。

場所は、東京駅八重洲口の北側になる。朝日生命大手ビルなど、築40〜50年前後の古いビルが並ぶ約3・1ヘクタールの再開発する。高さ390階のビルを含めて4棟を建てる計画で、総事業費は1兆円を超える。



三菱地所の杉山博孝社長は「シンボル性の高いビルにし、新たな価値を生みたい」と話す。  
(下山祐治)

三菱地所が建てる高さ390階の超高層ビルイメージ図。同社提供

### 東京駅近くビル計画

## 金融拠点狙う 史跡活用

東京駅のそばに日本で最も高い390階の超高層ビルが建設されることになった。三菱地所が31日、記者会見で明らかにした。12年後に完成予定で、「あべのハルカス」(大阪市、300階)を上回って日本一の高さとなる。周辺では東京の新たなシンボルを中心としたまちづくりが始まる。

JR東京駅の日本橋口前の常盤橋地区(千代田区)に建設される。地上61階、地下5階で、延べ床面積は約68万平方メートル。周辺は日本銀行や大手金融機関の本社機能が集まる地域で、三菱地所は国内外の金融機関を誘致するなどして国際的な金融拠点となるオフィスビルを目指す。

三菱地所の杉山博孝社長は会見で、「東京の新しいシンボルとなるまちをつくりたい」。高さ390階のビルは、品川―名古屋間で2027年の開業を目指すリニア中央新幹線と同じ年度の開業を予定し、最上階には展望デッキなど観光施設も整備する。常盤橋地区はかつて江戸城に参勤交代の大名行列が入る表玄関だった常盤橋門があった場所で、史跡も生かしながら再整備を進める計画だ。



三菱地所が建てる超高層ビルイメージ図。東京の新たなシンボルを目指す。同社提供

#### 国内の主な超高層ビル

順位	名称	高さ(メートル)
1	三菱地所の新ビル(東京)	390
2	あべのハルカス(大阪)	300
3	横浜ランドマークタワー(横浜)	296
4	りんくうゲートタワービル(大阪・泉佐野)	256
5	大阪府咲洲庁舎(大阪)	256
6	虎ノ門ヒルズ(東京)	255
7	ミッドタウン・タワー(東京)	248
8	ミッドランドスクエア(名古屋)	247
9	JRセントラルタワーズ(名古屋)	245
10	都庁第1本庁舎(東京)	243

※三菱地所調べ

(金岡妙子)